

大阪大学大学院医学系研究科・医の倫理と公共政策学

平成 30 年度 科目等履修生高度プログラム

「医学倫理・研究ガバナンスプログラム」

受講生募集のお知らせ（予告）

（社会人、将来の大学院入学希望者向け）

医療・医学の倫理とガバナンスの基礎を学んでみませんか！



最先端の医学・医療は急速に発展してきており、社会と調和の取れた形で進展するためには、医学倫理や研究ガバナンスに対する取り組みが重要になります。本プログラムは、そうした社会的・学術的ニーズを背景に、研究や医療の現場で働く専門家が、医学倫理と研究ガバナンスの専門的・実践的知識を身に着けるために設置されました。さらに、医学倫理・研究ガバナンスを主たる専門として、将来、大学院（修士課程・博士課程）で学ぼうと考えている人々が、基礎知識を取得し、自ら課題に取り組む力を身に着けることができるようにデザインされています。受講者としては、他分野の大学院生、大学・研究機関・医療機関で働く方々に加えて、製薬企業、医療機器関係の企業などで勤務する方々も対象となります。

受講者は、3つの必修講義によって、医学倫理・医療倫理・研究ガバナンスの基礎と実践力を身に着けることができます。その上で、各自の専門と興味に合わせ、より広範囲の学習を行うことで、多様な状況における課題に対応できる力を獲得できるようになっています。

【開講科目】（予定、数字は単位数）：

医療倫理概論（必修）1単位（前期）

医学研究倫理・ガバナンス特論A（必修）1単位（前期）

医学研究倫理・ガバナンス特論B（選択）1単位（後期）

ライフサイエンスの倫理と公共政策学（必修）2単位（前期集中）

医療政策学・医学政策学（選択）1単位（後期）

その他、公衆衛生学分野等の講義を選択で受講することができます。

（定められた期間内にプログラムが定める授業科目を履修し、所定の単位を修得した方には修了認定証（履修証明書）が授与されます。また、本プログラムで修得した科目の単位については、本研究科修士課程医科学専攻に入学した際に、10単位を超えない範囲で既修得単位として認められる場合があります。詳しくは募集要項をご覧ください）

詳しい講義内容や講師の詳細は、平成30年1月にHPに掲載予定です。

願書受付期間：2月上旬予定

連絡先：大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学

Tel:06-6879-3688 e-mail: info@eth.med.osaka-u.ac.jp